

組織名	公益財団法人 福岡アジア都市研究所
-----	-------------------

1 組織概要

所在地	福岡県福岡市中央区天神1-10-1 福岡市役所北別館6階
TEL	092-733-5686
FAX	092-733-5680
URL	http://www.urc.or.jp/index.html
e-mail	info@urc.or.jp
設立	2004年4月1日
設置都市等	福岡県福岡市
代表者	貫正義(会長/福岡経済同友会恒久幹事)

2 組織動向

(1) 沿革

設置経緯	<ul style="list-style-type: none"> ○1988年8月1日:財団法人福岡都市科学研究所設立 ○1992年10月7日:財団法人アジア太平洋センター設立 ○2004年4月1日:両財団統合にて名称変更 ○2012年4月1日:公益財団法人に移行
見直しの動向	—
役割(2020年時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○都市政策に関する調査研究、知識の普及及び情報の収集、提供、アジア諸都市との研究交流並びにこれらに関連する事業を通じ、地域社会の発展に寄与することを目的とする。 ○この目的のために、主に以下の事業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・都市政策に関する調査研究及び情報の収集、提供 ・講演会、研究会の開催等都市政策に関する知識の普及 ・研究誌等の刊行物の発行

(2) 組織体制

設置形態(択一)	<input type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
常勤職員数	16人
うち常勤研究員数	6人
非常勤研究員数	1人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
庶務体制	研究所内にて行っている。
市民参加、外部連携	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員を対象に、会員研究員の受入れを行っている。 ・市民等を対象に、市民まちづくり研究員の受入れを行っている。

(3)会計		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2020年度予算	16,574 千円	
2019年度決算	22,632 千円	
2018年度決算	28,988 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	補助金収入
	2位	事業収入
	3位	その他(具体的に:会費収入)
	4位	その他(具体的に:助成金収入)
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳 (多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	

3 活動動向

(1)活動実績	
定期刊行物	○研究紀要「都市政策研究」(年度1冊発刊) ○福岡市のデータブック FUKUOKA growth 2020(隔年1冊発刊)
(2)活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input checked="" type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に:設置市との協議)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

4 特記事項

研究員の業務分担	研究組織は、調査研究チーム、情報戦略チーム、アジア交流チームに分かれている。
研究員の専門性育成の手立て	<input type="checkbox"/> 特別研究員による助言 <input type="checkbox"/> プロジェクト方式による研究 <input type="checkbox"/> アジアの研究者や研究機関相互の交流・連携
研究員のキャリアパス等	<input type="checkbox"/> 公募制を実施している。 <input type="checkbox"/> 過去のキャリアパス例 ・民間大手研究所→当研究所→独立 ・大学院→当研究所→起業 ・民間企業→当研究所→大学教員
その他	

5 2020年度に実施した調査研究

調査研究名	調査研究の概要
世界の都市と福岡の現在 ～『「第3極」の都市』との比較を中心～	<p>福岡アジア都市研究所情報戦略室では、福岡市のグローバルなポジションを把握するための国際都市比較データブックとして、『「第3極」の都市』を発行してきた。</p> <p>『「第3極」の都市』は、福岡と類似性を有する都市～首都・経済首都ではなくメガシティでもない、高い生活の質が評価される都市～として、まず、バルセロナ(スペイン)、ミュンヘン(ドイツ)、メルボルン(オーストラリア)、バンクーバー(カナダ)、シアトル(米国)の5都市のベンチマークからスタートした。世界的な新型コロナウイルス感染の広がり、人や経済の動きが大きく制約され、この「第3極」の都市群にも、福岡同様、新型コロナウイルスの影響は及んでいる。2019年までとは異なる「第3極」の都市の現在の状況を紹介します。よりリアルな福岡のポジション、各都市との違いなどの客観的な判断材料になるという視点で、「第3極」の都市を中心とした世界の各都市の2020年の最新データ、状況を紹介します。</p> <p>http://urc.or.jp/fukuokagrowth-gcs-2020</p>
IoT技術等を活用した資源循環システム実証試験	<p>本事業は、IoT技術等を活用し、静脈資源のサプライチェーンの構築を目的に、公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センターより支援を受け、福岡アジア都市研究所がレコテック株式会社等とともに実施する。</p> <p>静脈資源データを一元的に管理することで、ごみの排出抑制や、収集運搬の効率化、静脈資源の安定供給が可能になるとの考えから、IoT技術を用いたデータの収集・管理およびAIによる発生量予測等を行う。また、こうしたしくみが各プレイヤーに与えるメリット・デメリットを検証するとともに、廃プラスチックの流通実証として、福岡市内の商業施設から排出されるプラスチック類を選別・リサイクルし、リサイクル材の評価を行うなど、コスト検証も同時に行う。</p> <p>http://urc.or.jp/gomi-shigen-iot http://urc.or.jp/gomi-shigen-iot-kickoff http://urc.or.jp/gomi-shigen-pilotproject-pr</p>
『ダイバーシティ・ネクスト～多彩な市民がチャレンジし、新たな価値を生み出す都市・福岡』	<p>新型コロナウイルス感染症や環境危機、技術革新等のめまぐるしい社会変化によって、未来予測が困難な時代と言われている。そうした変化に対応するのみならず、新たな価値を創造する都市のイノベーションがますます重要性を増している。</p> <p>人々の豊かな発想や可能性の拡大、創造性の育みに資するものとして着目したのが、「ダイバーシティ・ネクスト」というアプローチである。本研究では、「ダイバーシティ・ネクスト」を従来の属性のダイバーシティよりも深化した概念として捉えなおし、都市のイノベーション創出に向けて示唆している。</p> <p>http://urc.or.jp/2020sougou-dn</p>